

上八川幼稚園・小学校

上八川幼稚園

上八川幼稚園では、4歳児5名、5歳児7名が仲良く元気に遊んでいます。

隣接している吾北中学校の生徒が毎朝子どもたちの登園につき添ってくれたり、小学生が休み時間に園庭へ遊びに来てくれたりしてくれる機会も多く、いつもほほえましい姿が見られます。今年度も保護者、地域の方々に支えていただき、子どもたちの伸びやかな成長を願いながら、楽しい日々を送りたいと思います。



上八川小学校

平成21年度、上八川小学校は、新1年生男子3名、女子2名の5名を迎え、総勢29名で元気にスタートしました。1年生から6年生までを5つの縦割り班に分け、早速掃除も始まりました。上級生が可愛い1年生に手とり足とり一つ一つ丁寧に教えています。1年生も上級生の言葉に耳を傾けて、雑巾の使い方や絞り方等を一生懸命身につけようとする、初々しい姿に思わず笑みがこぼれてきます。下記の目標のもと、**こん気・やる気・思いやり**を合言葉に教育活動を進めていきます。



教育目標 「生きる力の育成」 主体的に活動する子ども

＜いきいき上八川っ子＞

・自分から進んでとりくむ子 ・思いやりをもつ子 ・ねばり強くがんばる子

いの町 ALT のページ

Assistant Language Teacher



5年間にわたって、いの町の皆さんに大変お世話になりました、ALTのジョナサン・ウォルシュです。日本では、3月が卒業の月で、4月に新たな生活が始まります。やっぱりこの季節ではさまざまな出会いもあり別れもあります。今月から他の学校に就職することになりました。いの町の人々と別れるのは、本当に寂しくてちょっと悲しいです。

何も分からない私は、皆さんに大変ご迷惑をお掛けしました。しかし皆さんはとても優しく、いろいろ教えてくださって、今では感謝の気持ちを言葉では言い尽くせません。日本での生活を始める際にも助けていただき、本当にお世話になりました。高知県には住み続けるつもりでいますので、近いうちに皆さんに直接お礼を申し上げに、各学校に訪れたいと思っています。

特にいの町の子どもたちには感謝しています。実のところ、私は教師なのに、本当にすっかり生徒のお世話になってしまいました。今子どもに何とお礼を言っているのか分かりません。日本語や日本の文化を全く

いの町で、約5年間ALTとして勤めていただいたジョナサン先生が、4月19日をもって退職されました。

分からない外国人としてのいの町に来て、この5年間幸せな時もありましたが、ちょっと辛い時もありました。しかし、たまにホームシックになっても、毎日のいの町の素敵な子どもたちの笑顔を見て、いっぱい元気をもらいました。毎朝学校に通う時、小学生も中学生もちゃんと挨拶してくれて、とても感動しました。幼稚園や保育園から出掛ける時も「また来いや!」と言ってくれて、とても幸せな気持ちになりました。さすがいの町の子どもだね、と思いました。やっぱり共に学んだり、遊んだりした生徒との別れは辛いです。しかし、道はそれぞれに別れても、これからも友情は続けたいと願うのは誰でも同じです。ずっといの町の子どもを応援したいです。子どもたちの笑顔で日本人の優しさを毎日実感できました。

皆さんのおかげで、高知県が大好きになって、これからもずっと高知県に住むつもりです。もちろんいの町の話は、私の心の古里としてずっと想っています。いろいろな外国に住みましたが、どこよりもいの町のために、私の心の中で特別な場所があります。

皆さん本当にありがとうございました。後任のALTのこともよろしく願います。彼が私のようにいの町が大好きになったら、なによりもうれしいです。この5年間本当に本当にありがとうございました。